

時代は リニューアルテクノロジーを渴望

管更生工事
土木工事
上下水道工事
浚渫工事
TVカメラ・管内調査
塗装・建築工事
緑地管理・造園工事
産業廃棄物収集運搬・処理

管更生工法
インシチューム工法
オールライナー工法
ダンピング工法
サーモパイプ工法
シービーアール工法
エフアールビ工法
クリスタルライニング工法
ワイヤックビーバー工法

見えない管の中をリニューアル!
あらゆる管に最新技術で対応します。

維持管理時代のメインストリートへ
中日コプロ株式会社
〒464-0851 名古屋市千種区今池南26番4号
TEL 052-733-8131 FAX 052-733-8188
URL <http://www.copro.co.jp> E-mail k-maeda@copro.co.jp

金属技研

モノづくりマッチングJapan2014
次世代3D積層造形技術総合開発機構(TRAFA M)の研究メンバーの金属技研は、年内にスウェーデンのアイカム製電子ビーム方式金属3Dプリンター「Giga-HIP」を追加導入する。既に電子ビーム方式とレーザー方式の各1台を導入済み。新設機は従来に比べて大型の品造形でき、多数個造形で小

物の生産を効率化する。チタン64合金専用にして材料入れ替えによる効率低下を防ぐ。

(ベース番号M 008)

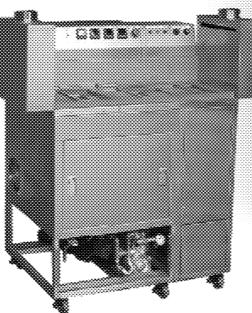
特機工業

特機工業の洗浄機「オールマイティ・シリーズ」は、豊富なバリエーションから最適機種を選べ、低価格を実現している。溶剤使用量を抑え、計によりランニングコストを低減。有機溶剤系・ソルベント洗浄仕様など、豊富な洗浄液に対応している。また、超音波洗浄機用にコニット型脱脂装置を開発した。洗浄液中の溶存酸素をコントロールし、超音波の効果を高めることで、超音波洗浄機の超音波パワーを復活させる。炭化水素系・水系・準水系など多様な液に対応する。

鉛フリーはんだフラックス洗浄システム

マイクロクリーナーECO

専用洗浄剤 マイクロクリン ECO-3002I



VOCを約70%カット!
1液洗浄システムで液管理ラクラク
液の連続蒸留再生で低成本と廃液レス

未来材料に挑戦する
化研テック株式会社
<http://www.kaken-tech.co.jp>

はんだパレット洗浄システム

パレットクリーナー

専用洗浄剤 パレクリン



早い!強力シャワーで1分洗浄
安い!低ランニングコスト
簡単!ブラシ要らずの簡単洗浄

洗浄総合展に
出展します!
東1ホール
W-094

ファインマシーンカタオカ

ファインマシーンカタオカの
カブセル洗浄機「クリーントル
ネードSPC 030 C」が
好評を得ている。
洗浄と水切り
を一ヵ所で行い、
ワクの移動を
をなくし、従来の同社製洗浄機
に比べて大幅にサイクルタイム
を短縮した。
独自の密閉球形洗浄室を採
用し空気が渦巻きのようになる

「トルネード効果」でより効
果的に洗浄・水切りを行つ。
洗
室内は常に清潔な状態を保
つ。大きさは従来比50%減で省
スペース化した。密閉状態で作
業するため、作業音も今までに
ない稼働時間以下といつ静肅
性を実現した。

(ベース番号W 072)

ジャパン・フィールド

ジャパン・フィールドはフロン・エタン代替ガスの「ザーベル」から好評を得ている。
多くの「ザーベル」から好評を得ている。
净室では常に清潔な状態を保
つ。大きさは従来比50%減で省
スペース化した。密閉状態で作
業するため、作業音も今までに
ない稼働時間以下といつ静肅
性を実現した。

(ベース番号W 056)

篠原電機

篠原電機は光イオン化(PID)方式の超高精度ガス検知器を販売。大気汚染防止法に係る揮発性有機化合物(VOC)処理装置の排出濃度順守のための設備保全につながる。土壤汚染対策の簡易測定や有機溶剤を使用する現場作業者の健康を守るVOC濃度測定器として石油精製、印刷、化粧品、電子分野などで採用を拡大している。

(ベース番号W 052)

スギノマシン

スギノマシンは高压水洗浄の新機軸を多数出
品。ライン洗浄用の「コンピューター数値制御(C
NC)ロボットハンド高効率洗浄機「JCC-5
03R obo」は搬送・洗浄・乾燥を1台に集
約。工程短縮と省スペースに貢献し、流量アップ
動掃除機「さらば清掃」を内蔵しているため、槽
内での清掃が不要。また、溶剤抑制タイプの常圧自
動洗浄機「ナチュラ」をラインアップし、洗浄シ
ステム「グリーンベバー」シリーズを商品化。
真空濃縮装置「オイルフィールド」のほか、加工
油を再利用する「フレイバック」など環境に配慮
した製品も多数そろえる。

(ベース番号W 055)

日本液炭

日本液炭の扱う「ドライアイスblast」は、
シミット材にドライアイスを使用した洗浄方法で
ある。ドライアイスを圧縮空気で加速させ洗浄対
象物に噴射し、汚れを洗浄・除去される。
溶剤・洗剤・研磨剤と違違、ドライアイスは昇華し液体に
なるため、残留物の回収や廃棄の手間が省け、制御
盤や配管などを水を嫌う電気設備の洗浄にも適して
いる。また、他のショット材よりも柔らかく、洗浄
対象物の表面を傷つけにくい。ドライアイスは石油精製工場などから排出される
酸化炭素(CO₂)を原料として資源を効率的
に活用している。

(ベース番号W 078)

アクリア化学

ハンダフラックス洗浄システムで多くの実績を
誇る化研テック。ラインアップに加わった「マイ
クロクリーナーECO」は、洗浄性と経済性を両立
したシステムだ。特許を取得した同システム専
用洗浄剤「マイクロクリンECO」。水で3倍に
希釈しての使用ながら、溶剤100%品と同等の
洗浄力を発揮する。もちろん揮発性有機化合物
(VOC)も削減する。洗浄、 rinsing、乾燥の工
程が1液で完結し、洗浄液は内蔵の蒸留再生器で
純化・リサイクルするため、コスト削減も期待で
き。

(ベース番号W 094)

日本洗浄技能開発協会

日本洗浄技能開発協会(JWA)は産業用の施
設や設備などを洗浄することを業とする企業の集
まりである。「安全と技術・技能」の向上を目的
に、1986年から厚生労働省の技能検定・産業
洗浄に協力するなど技能士の育成を積極的に行
う。現在、8500人以上が「産業洗浄技能士」
の資格を取得しており、各方面で活躍する。
JWAは今後、産業洗浄技能士の活用および企
業に働きかけることで、洗浄従事者の社会的・經
済的地位が向上するように活動していく考えだ。
フュードでの洗浄用・超高压水発生ポンプ
「H1 Jet 3000 GT」は環境対応型高出力
エンジンを採用し吐出量を従来機比50%向上、
リーンなウォーターシェット・フルストップ操作で
現地特殊環境向け7軸多関節ロボットや無線操作
の除染ロボットも出品。(ベース番号W 061)

(ベース番号W 073)

ケルヒヤー・ジャパン

森合精機はモノづくりを支える部品洗浄機の総
合メーカー。今回、水切り乾燥性を高めた洗浄機
「MSSP-200」を発表する。スプレー洗浄
後、ワークを高速スピンドル回転させ遠心力で水切り
を行う。同時に容器内をフロア吸引すること
で高い水切り乾燥性を実現。コンパクトな機構
の振動・テーブル回転により、ワークに対し正確
に面洗浄が可能な「MSNC-250」
なども出展する。

(ベース番号W 104)

アクリア化学は水溶性・炭化水素洗浄において
洗浄剤と装置システム両面からの開発を得意とす
る。中でも水溶性洗浄では定期的な廃液が必要だ
った洗浄剤の再生利用を「filtration」装置で
おこなう。専用途に活用できる溶剤「ソルベン
ト」で実現した。

炭化水素洗浄では溶剤ガスの消費量を50%低減
可能なガス回収器「RECO」でコスト削減に寄
与する。さらに同洗浄では不得意な水溶性加工油
が蒸気洗浄や蒸留再生も可能なユーティリティ溶
剤である。

(ベース番号W 062)

ケルヒヤー・ジャパン

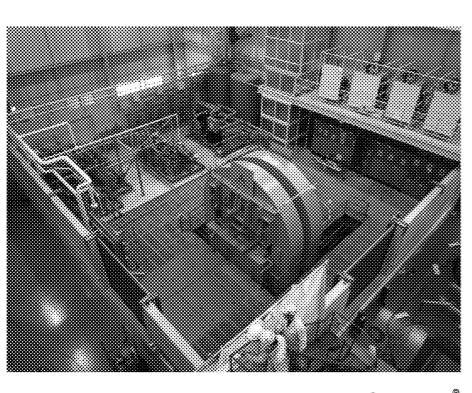
ケルヒヤー・ジャパンは屋外ブースで、注力製
品のモバイルウォータージェット・HD7/25
ODE-Tri-1を展示会で初めて実演。水を超
高圧で噴射してコンクリート・塗装・汚れなどを
取り除き、建設現場や塗装・補修工事現場で高速
かつ節水で行える修繕補修処理を提案する。
屋内ブースでは、クラス最軽量のバッテリー式
小型床洗浄機「DR35/12C-B」やドライアイ
スで汚れを落とす業務用ドライアイス・スプレ
ー・IB7/40など機械・食品工場で使用され
る床洗浄機やドライアイス・高圧洗浄
機を展示・実演する。(ベース番号W 057)

(ベース番号W 057)

the metal solution®

HIPテクノロジーで世界をリードする

HIP(熱間静水圧プレス)とは
金属粉末の焼結や、溶接が困難な金属同士の接合、
それに鋳造品の内部欠陥除去など、モノづくりの基礎をなす
重要なテクノロジーです。金属技研はこのHIP装置を1984年より
導入し、2010年は世界最大級HIP装置“Giga-HIP”を稼動させて、
さらなる金属の可能性を切り拓きました。



金属技研は、金属熱処理、接合、
HIP処理など様々な特殊技術をモノづくりの基幹とし、
機械加工技術を融合することによって、上流から下流まで
一貫した受託加工を行なっており、液晶・半導体分野から
エネルギー分野、さらには航空・宇宙分野まで幅広く手掛けております。
2012年に新設した成田工場を拠点とし、Pratt & Whitney社との契約のもと、
航空機用エンジン部品の修理事業を始めました。
最近では三次元積層造形による航空機部品の開発も開始。
真空中で電子ビームにより金属粉末を溶かし積層造形した後、HIP処理で高密度化する。
既存工法で難しい部品を短期間に提供できる事業を始めました。
社会・人・くらしへの貢献を通じて、皆様に愛され、信頼される企業を目指し、たゆまぬ努力を続けてまいります。